

〔 高校生 〕

男女共同参画に関する高校生アンケート調査
—調査結果報告書—

平成29年3月

横 須 賀 市

目次

はじめに	1
I 調査の実施方法等	3
II 調査結果の表示について	3
III 調査結果の概要	4
IV 集計結果	6
回答者の属性	6
1 男女共同参画に対する考え方について	8
(問1) 男女共同参画(社会)等の言葉の認知度	
(問2) 学校、家庭、社会等における男女共同参画の進捗状況	
2 固定的性別役割分担について	11
(問3) 本人の固定的性別役割分担への考え方	
(問4) 保護者の固定的性別役割分担への考え方	
3 女性の活躍推進について	14
(問5) 女性が働くことについての考え方	
(問6) 女性が職業をもち続けた方がよいと考える理由	
(問7) 子どもが小学生になった頃に職業をもつ(再就職する)ことへの考え方	
(問8) 女性が職業をもつことへの考え方に影響していること	
4 セクハラ、DVについて	18
(問9) セクハラ被害の経験	
(問10) セクハラ被害の内容	
(問11) DV、デートDVについての認知度	
(問12) 配偶者や恋人間で暴力と感じる事柄	
(問13) DVに関する相談機関の認知度	

5	将来について	25
	（問14）将来就きたい職業の有無	
	（問15）その職業に就きたい理由	
	（問16）転職・離職についての考え方	
	（問17）将来、家庭をもった際の家事・育児の役割分担のあり方	
6	性的マイノリティについて	30
	（問18）性的マイノリティ（またはLGBT）の言葉の認知度	
	（問19）性別で悩んだ経験の有無	
7	男女共同参画推進について（自由意見）	31
■	自由記入欄への記載内容	32
■	調査用紙	37

はじめに

横須賀市では、誰もが性別に関わらず個人として尊重され、あらゆる分野における活動に男女が協力し、互いに個性と能力を発揮し、その利益を享受できる社会を実現することを目的とし、平成13年（2001年）12月に横須賀市男女共同参画推進条例（以下「条例」という。）を制定しました。

さらに、この条例に基づき、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、横須賀市男女共同参画プランを策定し、さまざまな取り組みを行ってきているところです。

現在は、平成25年度から平成29年度を計画期間とする「第4次横須賀市男女共同参画プラン」（以下「第4次プラン」という。）の実施期間中で、「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担意識の解消、政策・方針決定過程における女性の参画拡大やワーク・ライフ・バランスの推進、男女共同参画社会の形成を阻害する重大な課題でもある女性に対する暴力を根絶する環境づくりなどに、3つの取り組みの方向性を掲げ、12の施策方針のもと、55の事業により推進しています。

今回実施した「男女共同参画に関する高校生アンケート調査」は、第4次プランの達成状況を確認することと、男女共同参画やDV等の問題への高校生の意識や現状を把握し、平成29年度に策定予定の次期プラン（第5次横須賀市男女共同参画プラン）の基礎資料とするために実施したものです。

この調査結果を踏まえ、男女共同参画施策を検討し、より本市の男女共同参画が推進するよう取り組んでいきます。

平成29年（2017年）3月

横須賀市市民部人権・男女共同参画課

取り組みの方向性と施策方針一覧

取り組みの方向性1 個人を尊重する意識づくり

- 施策方針 (1) 男女共同参画についての理解の促進
- (2) 固定的な性別役割分担意識の解消
- (3) 男性や子どもにとっての男女共同参画の推進

取り組みの方向性2 男女ともに社会のあらゆる分野に参画できる社会づくり

- 施策方針 (1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- (2) 働く女性への支援
- (3) 地域活動における男女共同参画の推進
- (4) 事業所と連携したワーク・ライフ・バランス推進
- (5) 多様な育児等関連サービスの提供
- (6) 市役所の男女共同参画モデル事業所の取り組み

取り組みの方向性3 DV（ドメスティック・バイオレンス）やセクシュアル・ハラスメントを根絶する環境づくり

- 施策方針 (1) DV被害者への支援
- (2) DVに関する啓発の充実
- (3) セクシュアル・ハラスメントは人権侵害だという社会意識づくりの推進

I 調査の実施方法等

調査の実施方法等

- (1) 調査対象
 - ・横須賀市立横須賀総合高等学校 全日制全生徒960人
- (2) 調査の実施主体
 - ・横須賀市
- (3) 調査の配布・回収
 - ・横須賀市立横須賀総合高等学校教諭による配布、回収
- (4) 調査期間
 - ・平成28年7月13日(水)～7月20日(水)
- (5) 回収数(回収率)
 - ・918件(95.6%)

II 調査結果の表示について

- ・この調査報告書に掲載している数値は四捨五入の端数処理をしているため、合計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- ・「回答者の属性」の部分を除き、数値データには無回答は含めていません。
- ・属性(性別、年齢等)無回答であった人の回答は、全体集計には含んでいますが、属性ごとの集計には含んでいません。
- ・調査結果の表中に「選択率」の表記がある数値は、選択肢を複数選べる設問において、各選択肢を何%の人が選んだかを表します。(問1、9、10、13、15)
- ・回答者の属性①性別の「その他」は、性的マイノリティの方を考慮した選択肢です。調査結果の表中には参考として掲載しています。

Ⅲ 調査結果の概要

この調査は横須賀市内の市立高校1校でのみ実施した結果です。

1 男女共同参画に対する考え方について

- (1) 男女共同参画（社会）等の言葉の認知度（問1）
 - ・「男女共同参画（社会）」を選んだ人は、87.6%でした。
- (2) 学校、家庭、社会等における男女共同参画の進捗状況（問2）
 - ・「①学校生活」、「②家庭生活」、「③法律、制度」について、「男女平等である」が最も多くなっています。
 - ・「④社会全体」について、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっています。

2 固定的性別役割分担について

- (1) 本人の固定的性別役割分担への考え方（問3）
 - ・「①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい」について、「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
 - ・「②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ」について、「そう思う」が最も多くなっています。
 - ・「③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」について、「そう思わない」が最も多くなっています。
- (2) 保護者の固定的性別役割分担への考え方（問4）
 - ・「①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい」について、女性の保護者、男性の保護者共に「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
 - ・「②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ」について、女性の保護者は「そう思う」、男性の保護者は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
 - ・「③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」について、女性の保護者は「そう思わない」、男性の保護者は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

3 女性の活躍推進について

- (1) 女性が働くことについての考え方（問5）
 - ・「ずっと職業をもち続ける方がよい」が最も多く、これに「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」が続いています。
- (2) 女性が職業をもち続けた方がよいと考える理由（問6）
 - ・「能力を生かした方がよいから」が最も多く、これに「経済的に自立できるから」が続いています。
- (3) 子どもが小学生になった頃に職業をもつ（再就職する）ことへの考え方（問7）
 - ・「パートタイム、アルバイトで再就職した方がよい」が最も多く、これに男性は「再就職せず、家事・育児などに専念した方がよい」、女性は「フルタイム（正社員など）で再就職した方がよい」が続いています。
- (4) 女性が職業をもつことへの考え方に影響していること（問8）
 - ・「女性の保護者」が最も多く、これに「特に影響を受けたことはない」「テレビ・新聞・インターネットなど」が続いています。

4 セクハラ、DVについて

(1) セクハラ被害の経験（問9）

- ・セクハラ被害の経験について、「自分が被害を受けたことがある」は7.3%、「他の人が被害を受けたと聞いたことがある」は17.0%、「他の人が被害を受けたことを見たことがある」は5.6%の人が選択しました。

(2) セクハラ被害の内容（問10）

- ・「必要もないのに体を触られた（触った）」が最も多く、これに「性的なからかいや冗談などを言われた（言った）」が続いています。

(3) DV、デートDVについての認知度（問11）

- ・「知っている」（「言葉も意味も知っている」＋「言葉は聞いたことがある」）と回答した人は、「①DV」が96.5%、「②デートDV」が84.8%でした。

(4) 配偶者や恋人間で暴力と感じる事柄（問12）

- ・「①何を言っても無視する」について、「どちらかといえば、暴力だと思う」が最も多くなっています。
- ・「②相手の携帯電話をチェックして友達の番号やアドレスを消せと言う」、「③頻繁に電話をしてきたり、行動を制限しようとする」、「④お金を取り上げる」、「⑤殴るふりなどをして脅す」、「⑥物を投げつける」、「⑦身体を傷つける可能性のある物で叩く」、「⑧嫌がっているのに無理やりキスしたり、抱きついたりする」について、「暴力だと思う」が最も多くなっています。

(5) DVに関する相談機関の認知度（問13）

- ・「相談できる機関を知らない」と選択した人は31.9%でした。

5 将来について

(1) 将来就きたい職業の有無（問14）

- ・将来就きたい職業が「ある」と回答した人は59.5%でした。

(2) その職業に就きたい理由（問15）

- ・「自分のやりたい仕事だから」が最も多く、これに「将来性、安定性があるから」が続いています。

(3) 転職・離職についての考え方（問16）

- ・「最初に就職した所に、できるだけ長く勤めたい」と回答した人は61.7%でした。

(4) 将来、家庭をもった際の家事・育児の役割分担のあり方（問17）

- ・「①家事」、「②育児」とともに「夫と妻で分担」が最も多くなっています。

6 性的マイノリティについて

(1) 性的マイノリティ（またはLGBT）の言葉の認知度（問18）

- ・「はい（知っている）」と回答した人は25.5%でした。

(2) 性別で悩んだ経験の有無（問19）

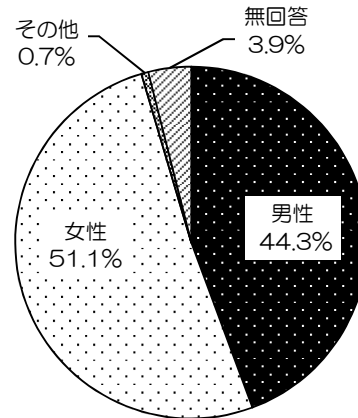
- ・「はい（悩んだことがある）」と回答した人は10.6%でした。

IV 集計結果

回答者の属性

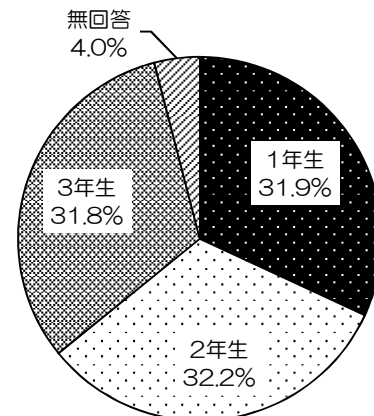
①性別

選択肢	回答数	割合
男性	407人	44.3%
女性	469人	51.1%
その他	6人	0.7%
無回答	36人	3.9%
合計	918人	100.0%



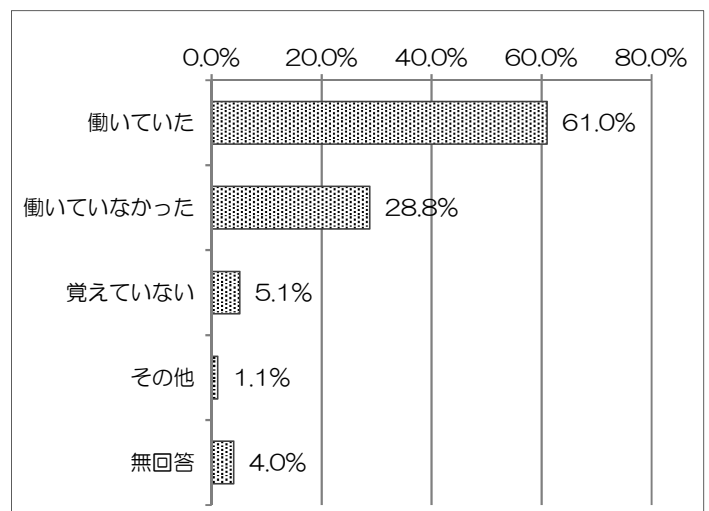
②学年

選択肢	回答数	割合
1年	293人	31.9%
2年	296人	32.2%
3年	292人	31.8%
無回答	37人	4.0%
合計	918人	100.0%



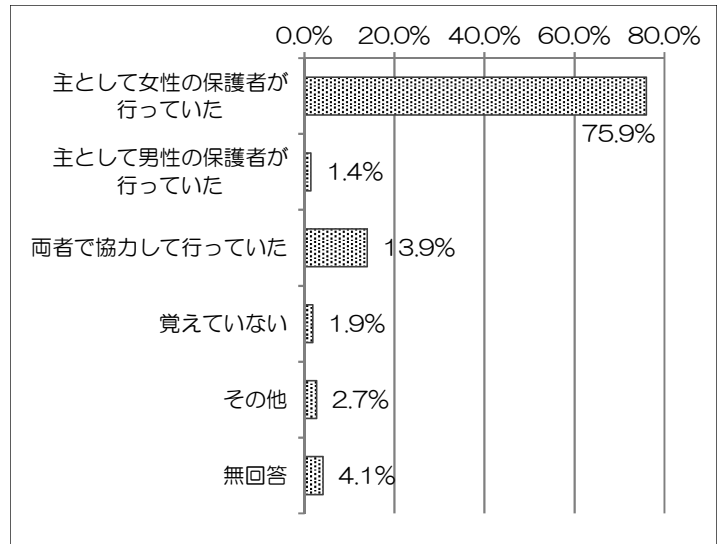
③あなたが小学生の頃、女性の保護者は働いていましたか

選択肢	回答数	割合
働いていた	560人	61.0%
働いていなかった	264人	28.8%
覚えていない	47人	5.1%
その他	10人	1.1%
無回答	37人	4.0%
合計	918人	100.0%



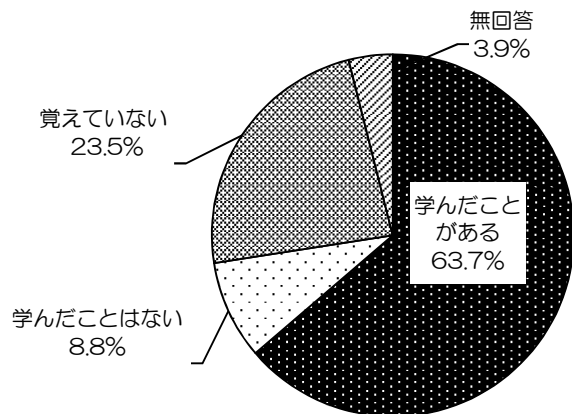
④あなたが小学生の頃、家事・育児・子育ては主に誰が行っていましたか

選択肢	回答数	割合
主として女性の保護者が行っていた	697人	75.9%
主として男性の保護者が行っていた	13人	1.4%
両方で協力して行っていた	128人	13.9%
覚えていない	17人	1.9%
その他	25人	2.7%
無回答	38人	4.1%
合計	918人	100.0%



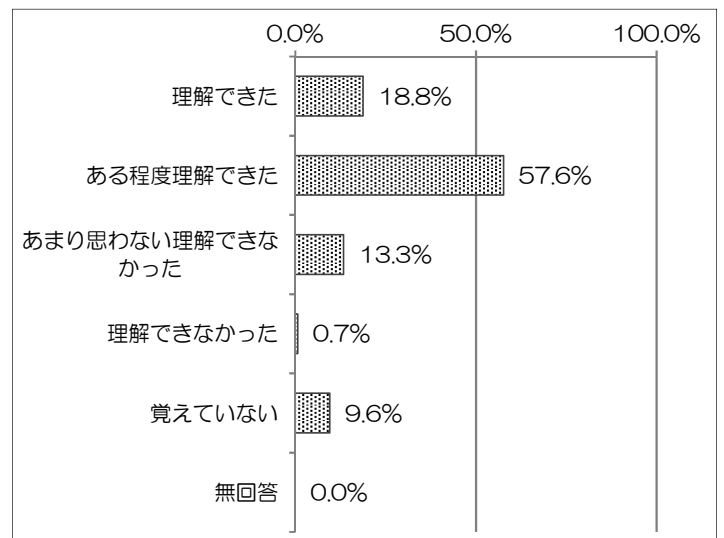
⑤小学校から高校で、これまでに「男女共同参画」について学んだことはありますか

選択肢	回答数	割合
学んだことがある	585人	63.7%
学んだことはない	81人	8.8%
覚えていない	216人	23.5%
無回答	36人	3.9%
合計	918人	100.0%



⑥「男女共同参画」の内容について理解はできましたか（⑤の質問で1を選んだ方）

選択肢	回答数	割合
理解できた	110人	18.8%
ある程度理解できた	337人	57.6%
あまり理解できなかった	78人	13.3%
理解できなかった	4人	0.7%
覚えていない	56人	9.6%
無回答	0人	0.0%
合計	585人	100.0%



1 男女共同参画に対する考え方について

問1 次の言葉について知っていますか、または聞いたことがありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「男女共同参画（社会）」を選んだ人は、87.6%でした。
 「男女雇用機会均等法」が最も回答が多く、これに「男女共同参画（社会）」「男女共同参画基本法」が続いています。

【図表1】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	選択率	選択率	選択率	選択率
男女共同参画（社会）	725 件	87.6%	88.3%	87.2%	100.0%
男女共同参画基本法	677 件	81.8%	84.7%	78.9%	100.0%
ジェンダー	484 件	58.5%	55.3%	60.8%	50.0%
固定的性別役割分担	45 件	5.4%	7.1%	3.9%	0.0%
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	184 件	22.2%	21.0%	23.9%	0.0%
男女雇用機会均等法	771 件	93.1%	93.2%	93.1%	100.0%
育児・介護休業法	358 件	43.2%	40.1%	45.2%	75.0%
デュオよこすか	10 件	1.2%	1.4%	1.1%	0.0%
女性活躍推進（法）	179 件	21.6%	22.1%	21.6%	25.0%
待機児童問題	623 件	75.2%	69.5%	80.0%	75.0%

注）この設問は選択率で表記しています。

問2 次にあげる分野で、男女は平等だと思いますか。それぞれ1つずつ選んでください。

「①学校生活」、「②家庭生活」、「③法律、制度」について、「男女平等である」が最も多くなっています。

「④社会全体」について、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっています。

「③法律、制度」では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を選んだ女性が男性に比べて12.6ポイント高くなっています。

「④社会全体」では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を選んだ女性が男性に比べて16.3ポイント高くなっています。

【図表2】①学校生活

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
女性の方が優遇されている	40人	4.4%	7.7%	1.1%	16.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	160人	17.7%	22.6%	13.9%	16.7%
男女平等である	588人	65.0%	58.6%	70.9%	33.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	18人	2.0%	0.5%	3.4%	0.0%
男性の方が優遇されている	2人	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%
わからない	96人	10.6%	10.7%	10.3%	33.3%
合計	904人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表3】②家庭生活

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
女性の方が優遇されている	39人	4.3%	5.7%	3.0%	0.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	95人	10.6%	9.9%	11.8%	0.0%
男女平等である	456人	50.7%	57.1%	44.7%	50.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	152人	16.9%	12.9%	20.9%	0.0%
男性の方が優遇されている	39人	4.3%	1.5%	6.7%	0.0%
わからない	119人	13.2%	12.9%	12.9%	50.0%
合計	900人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表4】③法律、制度

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
女性の方が優遇されている	46人	5.1%	9.2%	1.5%	0.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	125人	13.9%	15.1%	13.1%	0.0%
男女平等である	287人	31.8%	36.5%	27.5%	50.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	222人	24.6%	17.9%	30.5%	16.7%
男性の方が優遇されている	44人	4.9%	3.0%	6.2%	0.0%
わからない	178人	19.7%	18.4%	21.2%	33.3%
合計	902人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表5】④社会全体

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
女性の方が優遇されている	60人	6.7%	11.2%	3.0%	0.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	116人	12.9%	16.2%	10.1%	0.0%
男女平等である	189人	21.0%	26.1%	16.1%	33.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	309人	34.3%	26.1%	42.4%	0.0%
男性の方が優遇されている	76人	8.4%	5.0%	10.5%	33.3%
わからない	152人	16.9%	15.4%	18.0%	33.3%
合計	902人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2 固定的性別役割分担について

問3 次の①から③のような意見について、どのように考えますか。

それぞれ1つずつ選んでください。

「①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい」について、「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

「②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ」について、「そう思う」が最も多くなっています。

「③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」について、「そう思わない」が最も多くなっています。

男女別で見ると、男性の方が固定的性別役割分担に賛成する回答の割合が高くなっています。

【平成23年度調査との比較】

「③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」について、全体の割合は横ばいでした。

【図表6】①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい

選択肢	全体			男性		女性		その他
	回答数	割合		割合	割合			
そう思う	124人	13.7%	55.1%	21.1%	66.4%	7.5%	46.3%	0.0%
どちらかといえばそう思う	374人	41.4%		45.3%		38.8%		16.7%
どちらかといえばそう思わない	181人	20.0%	44.8%	12.2%	33.6%	27.1%	53.8%	0.0%
そう思わない	224人	24.8%		21.4%		26.7%		83.3%
合計	903人	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

【図表7】②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ

選択肢	全体			男性		女性		その他
	回答数	割合		割合	割合			
そう思う	505人	55.9%	91.0%	48.6%	86.3%	62.7%	95.5%	50.0%
どちらかといえばそう思う	317人	35.1%		37.7%		32.8%		0.0%
どちらかといえばそう思わない	37人	4.1%	9.1%	6.5%	13.7%	2.1%	4.4%	0.0%
そう思わない	45人	5.0%		7.2%		2.3%		50.0%
合計	904人	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

【図表8】③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

選択肢	全体			男性		女性		その他
	回答数	割合		割合		割合		割合
そう思う	38人	4.2%	25.7%	7.2%	37.6%	1.5%	15.8%	0.0%
どちらかといえばそう思う	194人	21.5%		30.4%		14.3%		0.0%
どちらかといえばそう思わない	283人	31.3%	74.3%	29.5%	62.4%	33.3%	84.2%	0.0%
そう思わない	389人	43.0%		32.9%		50.9%		100.0%
合計	904人	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

<参考>平成23年度調査

一般的に「男は仕事、女は家庭」という性別で役割を区別する考え方がありますが、どう思いますか。

選択肢	全体		男性		女性	
	割合		割合		割合	
賛成	3.0%	25.8%	6.2%	33.7%	1.0%	21.0%
ある程度賛成	22.8%		27.5%		20.0%	
やや反対	36.6%	74.2%	31.9%	66.3%	39.5%	79.0%
反対	37.6%		34.4%		39.5%	
合計	100.0%		100.0%		100.0%	

問4 あなたの保護者は次の①から③のような意見について、どのように考えていると思いますか。
それぞれ1つずつ選んでください。

「①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい」について、女性の保護者、男性の保護者共に「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
 「②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ」について、女性の保護者は「そう思う」、男性の保護者は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。
 「③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」について、女性の保護者は「そう思わない」、男性の保護者は「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

【図表9】①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい

選択肢	(1) 女性の保護者					(2) 男性の保護者				
	全体		男性	女性	その他	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	回答数	割合	割合	割合	割合
そう思う	149人	17.4%	19.8%	15.5%	16.7%	193人	23.4%	27.0%	20.3%	16.7%
どちらかといえばそう思う	361人	42.2%	43.4%	41.3%	0.0%	359人	43.6%	43.8%	44.4%	0.0%
どちらかといえばそう思わない	153人	17.9%	16.7%	19.8%	0.0%	128人	15.5%	12.7%	18.4%	0.0%
そう思わない	192人	22.5%	20.1%	23.4%	83.3%	144人	17.5%	16.5%	16.8%	83.3%
合計	855人	1000%	1000%	1000%	1000%	824人	1000%	1000%	1000%	1000%

【図表10】②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ

選択肢	(1) 女性の保護者					(2) 男性の保護者				
	全体		男性	女性	その他	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	回答数	割合	割合	割合	割合
そう思う	373人	43.7%	38.0%	48.7%	50.0%	237人	28.8%	30.4%	27.1%	50.0%
どちらかといえばそう思う	316人	37.0%	42.3%	33.0%	0.0%	326人	39.6%	42.3%	37.5%	0.0%
どちらかといえばそう思わない	96人	11.2%	10.6%	12.1%	0.0%	168人	20.4%	16.0%	25.0%	0.0%
そう思わない	69人	8.1%	9.0%	6.3%	50.0%	93人	11.3%	11.4%	10.4%	50.0%
合計	854人	1000%	1000%	1000%	1000%	824人	1000%	1000%	1000%	1000%

【図表11】③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

選択肢	(1) 女性の保護者					(2) 男性の保護者				
	全体		男性	女性	その他	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	回答数	割合	割合	割合	割合
そう思う	71人	8.3%	13.0%	4.0%	33.3%	129人	15.6%	18.9%	12.5%	33.3%
どちらかといえばそう思う	200人	23.4%	27.8%	18.8%	0.0%	245人	29.7%	35.1%	25.2%	0.0%
どちらかといえばそう思わない	259人	30.3%	31.0%	30.5%	0.0%	222人	26.9%	23.5%	30.4%	0.0%
そう思わない	326人	38.1%	28.3%	46.6%	66.7%	229人	27.8%	22.4%	31.8%	66.7%
合計	856人	1000%	1000%	1000%	1000%	825人	1000%	1000%	1000%	1000%

3 女性の活躍推進について

問5 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

「ずっと職業をもち続ける方がよい」が最も多く、これに「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」が続いています。

「小学生の頃、女性の保護者は働いていた」と回答した人は、「ずっと職業をもち続ける方がよい」と考えている割合が最も多くなっています。

【図表12】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
ずっと職業をもち続ける方がよい	266人	31.4%	21.5%	40.2%	60.0%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	114人	13.5%	15.0%	12.6%	0.0%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	229人	27.1%	22.6%	31.3%	20.0%
女性は職業をもたない方がよい	9人	1.1%	1.8%	0.5%	0.0%
わからない	175人	20.7%	31.2%	10.7%	0.0%
その他	53人	6.3%	7.9%	4.8%	20.0%
合計	846人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表13】

選択肢	全体	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていた	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていな かった	覚えていない	その他
ずっと職業をもち続ける方がよい	31.4%	38.4%	19.8%	16.7%	40.0%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	13.5%	11.1%	20.6%	4.8%	10.0%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	27.1%	26.0%	30.2%	19.0%	40.0%
女性は職業をもたない方がよい	1.1%	1.1%	1.2%	0.0%	0.0%
わからない	20.7%	18.0%	19.4%	54.8%	10.0%
その他	6.3%	5.4%	8.9%	4.8%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 「その他」への記入事項（主なもの）

- その人の自由である
- その時の状況による
- パートナーと話し合っていて決めるのがよい

(問5で「1 ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答された方、お答えください)

問6 女性が職業をもち続ける方がよいと考えた理由について1つ選んでください。

「能力を生かした方がよいから」が最も多く、これに「経済的に自立できるから」が続いています。

「能力を生かした方がよいから」を選んだのは「小学生の頃、女性の保護者は働いていたかどうか」に関係なく最も多いが、「経済的に自立できるから」を選んだのは「小学生の頃、女性の保護者は働いていた」と回答した人が多くなっています。

【図表14】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
能力を生かした方がよいから	109人	41.8%	46.2%	40.0%	33.3%
社会とより関わることができるから	49人	18.8%	21.8%	18.3%	0.0%
経済的に自立できるから	76人	29.1%	23.1%	32.0%	33.3%
精神的に自立できるから	10人	3.8%	3.8%	3.4%	33.3%
わからない	2人	0.8%	1.3%	0.6%	0.0%
その他	15人	5.7%	3.8%	5.7%	0.0%
合計	261人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表15】

選択肢	全体	小学生の頃 女性の保護者 は働いていた	小学生の頃 女性の保護者 は働いていな かった	覚えていない	その他
能力を生かした方がよいから	41.8%	37.7%	58.7%	57.1%	25.0%
社会とより関わることができるから	18.8%	20.6%	10.9%	28.6%	25.0%
経済的に自立できるから	29.1%	31.2%	28.3%	0.0%	0.0%
精神的に自立できるから	3.8%	4.0%	2.2%	0.0%	25.0%
わからない	0.8%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.7%	6.0%	0.0%	14.3%	25.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■「その他」への記入事項（主なもの）

- やりたいことをした方がよいと思うから
- 続けたい人がいるから
- 社会的立場を確立させ、認めてもらえるから

(問5で「2 結婚するまでは職業をもつ方がよい」「3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」と回答された方、お答えください)

問7 子どもが小学生になった頃に職業をもつ(再就職する)ことについてどう思いますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

「パートタイム、アルバイトで再就職した方がよい」が最も多く、これに男性は「再就職せず、家事・育児などに専念した方がよい」、女性は「フルタイム(正社員など)で再就職した方がよい」が続いています。

「小学生の頃、女性の保護者は働いていた」、「働いていなかった」に関わらず、「パートタイム、アルバイトで再就職した方がよい」と回答した人が最も多くなっています。

【図表16】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
フルタイム(正社員など)で再就職した方がよい	41人	12.2%	11.4%	12.8%	0.0%
パートタイム、アルバイトで再就職した方がよい	200人	59.5%	57.9%	60.6%	100.0%
テレワークやクラウドソーシングなど在宅勤務で再就職した方がよい	28人	8.3%	6.4%	9.0%	0.0%
再就職せず、家事・育児などに専念した方がよい	40人	11.9%	15.0%	10.1%	0.0%
わからない	19人	5.7%	5.7%	5.9%	0.0%
その他	8人	2.4%	3.6%	1.6%	0.0%
合計	336人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表17】

選択肢	全体	小学生の頃 女性の保護者 は働いていた	小学生の頃 女性の保護者 は働いてい なかった	覚えていない	その他
フルタイム(正社員など)で再就職した方がよい	12.2%	12.6%	11.3%	12.5%	20.0%
パートタイム、アルバイトで再就職した方がよい	59.5%	65.4%	50.8%	62.5%	60.0%
テレワークやクラウドソーシングなど在宅勤務で再就職した方がよい	8.3%	5.8%	12.1%	0.0%	0.0%
再就職せず、家事・育児などに専念した方がよい	11.9%	6.8%	20.2%	25.0%	0.0%
わからない	5.7%	5.8%	4.8%	0.0%	20.0%
その他	2.4%	3.7%	0.8%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■「その他」への記入事項(主なもの)

- 働きたいのであれば、働けば良い
- 働かないで家計が成り立つなら女性は家にいた方がよい
- 子どもとの時間をしっかり作れる程度に工夫して働く

（問5で「1 ずっと職業をもち続ける方がよい」「2 結婚するまでは職業をもつ方がよい」「3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」「4 女性は職業をもたない方がよい」と回答された方、お答えください）

問8 女性が職業をもつ（もたない）という考え方について、最も影響を受けたと思う人物やツールを1つ選んでください。

「女性の保護者」が最も多く、これに「特に影響を受けたことはない」「テレビ・新聞・インターネットなど」が続いています。

「小学生の頃、女性の保護者は働いていた」と回答した人は、「女性の保護者」からの影響を選んだ割合が高く、「小学生の頃、女性の保護者は働いていなかった」と回答した人は、「テレビ・新聞・インターネットなど」からの影響を選んだ割合が他と比べて高くなっています。

【図表18】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
女性の保護者	232人	40.2%	36.7%	42.6%	33.3%
男性の保護者	17人	2.9%	4.1%	2.0%	0.0%
保護者以外の家族	13人	2.3%	2.7%	2.0%	0.0%
親戚	14人	2.4%	4.1%	1.5%	0.0%
学校の先生	9人	1.6%	1.4%	1.7%	0.0%
友人・先輩などの知人	5人	0.9%	0.9%	0.6%	33.3%
職業体験（職場見学）	4人	0.7%	0.0%	1.2%	0.0%
学校の授業	31人	5.4%	8.1%	3.8%	0.0%
テレビ・新聞・インターネットなど	95人	16.5%	14.0%	18.4%	0.0%
特に影響を受けたことはない	138人	23.9%	24.0%	23.3%	33.3%
その他	19人	3.3%	4.1%	2.9%	0.0%
合計	577人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表19】

選択肢	全体	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていた	小学生の頃、女 性の保護者は働 いていなかった	覚えていない	その他
女性の保護者	40.2%	46.0%	29.9%	23.5%	14.3%
男性の保護者	2.9%	2.9%	3.0%	0.0%	0.0%
保護者以外の家族	2.3%	1.6%	3.7%	5.9%	0.0%
親戚	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	14.3%
学校の先生	1.6%	1.6%	0.6%	11.8%	0.0%
友人・先輩などの知人	0.9%	0.5%	1.2%	0.0%	14.3%
職業体験（職場見学）	0.7%	0.3%	1.8%	0.0%	0.0%
学校の授業	5.4%	4.8%	7.3%	5.9%	0.0%
テレビ・新聞・インターネットなど	16.5%	13.5%	23.8%	17.6%	14.3%
特に影響を受けたことはない	23.9%	23.0%	23.8%	29.4%	28.6%
その他	3.3%	3.4%	2.4%	5.9%	14.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■「その他」への記入事項（主なもの）

- ・自分
- ・現代の社会
- ・昔からの伝統、文化

4 セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）、DV（ドメスティック・バイオレンス）について

問9 これまで学校でセクハラだと感じたことはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

セクハラ被害の経験について、「自分が被害を受けたことがある」は7.3%、「他の人が被害を受けたと聞いたことがある」は17.0%、「他の人が被害を受けたことを見たことがある」は5.6%の人が選択しました。

【図表20】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	選択率	選択率	選択率	選択率
自分が被害を受けたことがある	63 件	7.3%	3.7%	10.0%	33.3%
他の人が被害を受けたと聞いたことがある	147 件	17.0%	14.4%	19.7%	0.0%
他の人が被害を受けたことを見たことがある	48 件	5.6%	6.3%	4.9%	16.7%
自分では自覚していなかった行為や言動を、セクハラだと指摘されたことがある	16 件	1.9%	2.6%	1.3%	0.0%
承知の上でセクハラをしたことがある	11 件	1.3%	1.6%	0.4%	16.7%
セクハラを受けたり、見たり、聞いたりしたことはない	631 件	73.1%	76.7%	70.7%	33.3%

注) この設問は選択率で表記しています。

(問9で「1 自分が被害を受けたことがある」「2 他の人が被害を受けたと聞いたことがある」「3 他の人が被害を受けたことを見たことがある」「4 自分では自覚していなかった行為や言動を、セクハラだと指摘されたことがある」「5 承知の上でセクハラをしたことがある」と回答された方、お答えください)

問10 それはどのような内容でしたか。あてはまるものすべてを選んでください。

「必要もないのに体を触られた(触った)」が最も多く、これに「性的なからかいや冗談などを言われた(言った)」が続いています。

【図表21】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	選択率	選択率	選択率	選択率
携帯電話などで性的な電子メールや画像を送られた(送った)	42件	18.1%	18.0%	18.2%	0.0%
性的なからかいや冗談などを言われた(言った)	99件	42.7%	46.1%	41.7%	25.0%
必要もないのに体を触られた(触った)	111件	47.8%	49.4%	48.5%	25.0%
雑誌などのヌードや水着の画像を見せられた(見せた)	13件	5.6%	5.6%	5.3%	25.0%
性的な関係を求められた(求めた)	28件	12.1%	9.0%	12.9%	25.0%
容姿のことで他人から不愉快な思いをさせられた(させた)	40件	17.2%	14.6%	20.5%	0.0%
その他	11件	4.7%	5.6%	3.0%	25.0%

注) この設問は選択率で表記しています。

■ 「その他」への記入事項(主なもの)

- 体を触られる
- しつこくメールされたり出待ちされた
- SNSを教えると言われた

問11 次の言葉について知っていますか、または聞いたことがありますか。

それぞれ1つずつ選んでください。

「知っている」（「言葉も意味も知っている」＋「言葉は聞いたことがある」）と回答した人は、「①DV」が96.5%、「②デートDV」が84.8%でした。

【平成23年度調査との比較】

「①DV」、「②デートDV」ともに「言葉も意味も知っている」（「よく知っている」）が41.2ポイント高くなっています。

【図表22】①DV

選択肢	全体		割合	男性		女性		割合
	回答数	割合		割合	割合			
言葉も意味も知っている	698人	78.0%	96.5%	73.1%	95.3%	82.3%	98.1%	66.7%
言葉は聞いたことがある	166人	18.5%		22.2%		15.8%		16.7%
知らない	31人	3.5%		4.7%		1.9%		16.7%
合計	895人	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

<参考>平成23年度調査 ①DV

選択肢	全体		男性		女性	
よく知っている	36.8%	96.3%	33.8%	95.0%	38.7%	97.1%
知っている	59.5%		61.2%		58.4%	
知らない	3.7%		5.0%		2.9%	
合計	100.0%		100.0%		100.0%	

【図表23】②デートDV

選択肢	全体		割合	男性		女性		割合
	回答数	割合		割合	割合			
言葉も意味も知っている	479人	53.6%	84.8%	50.4%	83.6%	57.5%	86.7%	16.7%
言葉は聞いたことがある	279人	31.2%		33.2%		29.2%		16.7%
知らない	136人	15.2%		16.5%		13.4%		66.7%
合計	894人	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

<参考>平成23年度調査 ②デートDV

選択肢	全体		男性		女性	
よく知っている	12.4%	56.4%	12.1%	51.7%	12.5%	59.2%
知っている	44.0%		39.6%		46.7%	
知らない	43.6%		48.3%		40.8%	
合計	100.0%		100.0%		100.0%	

問12 配偶者や恋人間で起こる、次のような事は暴力だと思いますか。①から⑧の項目ごとにそれぞれ1つずつ選んでください。

「①何を言っても無視する」について、「どちらかといえば、暴力だと思う」が最も多くなっています。
 「②相手の携帯電話をチェックして友達の番号やアドレスを消せと言う」、「③頻繁に電話をしてきたり、行動を制限しようとする」、「④お金を取り上げる」、「⑤殴るふりなどをして脅す」、「⑥物を投げつける」、「⑦身体を傷つける可能性のある物で叩く」、「⑧嫌がっているのに無理やりキスしたり、抱きついたりする」について、「暴力だと思う」が最も多くなっています。
 「①何を言っても無視する」、「②相手の携帯電話をチェックして友達の番号やアドレスを消せと言う」、「③頻繁に電話をしてきたり、行動を制限しようとする」について、「暴力だと思わない」（「どちらかといえば、暴力だと思わない」＋「暴力だと思わない」）が他と比べて多くなっています。

【図表24】①何を言っても無視する

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	183人	20.5%	52.6%	20.7%	20.0%	16.7%
どちらかといえば、暴力だと思う	286人	32.1%		30.8%	32.7%	33.3%
どちらかといえば、暴力だと思わない	161人	18.0%	38.5%	17.9%	18.7%	0.0%
暴力だと思わない	183人	20.5%		21.0%	21.1%	16.7%
わからない	79人	8.9%		9.6%	7.5%	33.3%
合計	892人	100.0%		100%	100%	100%

【図表25】②相手の携帯電話をチェックして友達の番号やアドレスを消せと言う

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	366人	41.0%	76.8%	38.6%	42.4%	16.7%
どちらかといえば、暴力だと思う	319人	35.8%		34.1%	37.8%	16.7%
どちらかといえば、暴力だと思わない	74人	8.3%	16.5%	8.6%	8.6%	0.0%
暴力だと思わない	73人	8.2%		10.1%	6.7%	33.3%
わからない	60人	6.7%		8.6%	4.5%	33.3%
合計	892人	100.0%		100%	100%	100%

【図表26】③頻繁に電話をしてきたり、行動を制限しようとする

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	333人	37.4%	73.6%	36.1%	38.4%	16.7%
どちらかといえば、暴力だと思う	322人	36.2%		34.8%	37.6%	33.3%
どちらかといえば、暴力だと思わない	111人	12.5%	19.7%	12.4%	12.5%	0.0%
暴力だと思わない	64人	7.2%		8.6%	6.3%	16.7%
わからない	60人	6.7%		8.1%	5.2%	33.3%
合計	890人	100.0%		100%	100%	100%

【図表27】④お金を取り上げる

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	676人	75.9%	93.1%	71.6%	79.1%	66.7%
どちらかといえば、暴力だと思う	153人	17.2%		19.5%	15.9%	0.0%
どちらかといえば、暴力だと思わない	17人	1.9%	3.1%	2.0%	1.7%	0.0%
暴力だと思わない	11人	1.2%		2.0%	0.6%	0.0%
わからない	34人	3.8%		4.8%	2.6%	33.3%
合計	891人	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

【図表28】⑤殴るふりなどをして脅す

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	727人	81.7%	94.2%	75.1%	87.1%	66.7%
どちらかといえば、暴力だと思う	111人	12.5%		15.0%	11.0%	16.7%
どちらかといえば、暴力だと思わない	12人	1.3%	2.2%	2.0%	0.4%	0.0%
暴力だと思わない	8人	0.9%		1.5%	0.4%	0.0%
わからない	32人	3.6%		6.3%	1.1%	16.7%
合計	890人	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

【図表29】⑥物を投げつける

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	795人	89.1%	96.5%	83.6%	93.3%	83.3%
どちらかといえば、暴力だと思う	66人	7.4%		9.8%	5.8%	0.0%
どちらかといえば、暴力だと思わない	4人	0.4%	0.8%	0.8%	0.2%	0.0%
暴力だと思わない	4人	0.4%		1.0%	0.0%	0.0%
わからない	23人	2.6%		4.8%	0.6%	16.7%
合計	892人	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

【図表30】⑦身体を傷つける可能性のある物で叩く

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	816人	91.6%	96.9%	86.4%	95.7%	83.3%
どちらかといえば、暴力だと思う	47人	5.3%		7.8%	3.4%	0.0%
どちらかといえば、暴力だと思わない	4人	0.4%	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%
暴力だと思わない	1人	0.1%		0.3%	0.0%	0.0%
わからない	23人	2.6%		4.5%	0.9%	16.7%
合計	891人	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

【図表31】⑧嫌がっているのに無理やりキスしたり、抱きついたりする

選択肢	全体			男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合	割合
暴力だと思う	620人	69.5%	92.0%	68.4%	70.3%	50.0%
どちらかといえば、暴力だと思う	201人	22.5%		22.2%	23.2%	16.7%
どちらかといえば、暴力だと思わない	20人	2.2%	3.5%	2.0%	2.4%	16.7%
暴力だと思わない	12人	1.3%		1.5%	1.3%	0.0%
わからない	39人	4.4%		5.8%	2.8%	16.7%
合計	892人	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%

問13 DVの相談機関を知っていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

「相談できる機関を知らない」と選択した人は31.9%でした。

知っている相談機関は男女ともに「警察」が最も多く、これに男性は「市役所」、女性は「配偶者暴力相談支援センター」が続いています。

【図表32】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	選択率	選択率	選択率	選択率
警察	537件	62.9%	62.0%	64.2%	40.0%
市役所	190件	22.2%	24.3%	20.1%	20.0%
配偶者暴力相談支援センター	182件	21.3%	19.8%	22.1%	20.0%
かながわ男女共同参画センター	84件	9.8%	11.2%	8.6%	20.0%
民間支援団体	91件	10.7%	11.8%	9.5%	20.0%
法務局（人権擁護委員）	62件	7.3%	9.4%	5.5%	20.0%
相談できる機関を知らない	272件	31.9%	33.7%	30.1%	80.0%

注) この設問は選択率で表記しています。

5 将来について

問14 将来就きたい職業がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

将来就きたい職業が「ある」と回答した人は59.5%でした。

将来就きたい職業が「ある」と回答した人は3年生が最も多く、「考えてはいるが、まだわからない」と回答した人は、1年生が最も多くなっています。

【図表33】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
ある	519人	59.5%	53.0%	65.8%	40.0%
考えてはいるが、まだわからない	302人	34.6%	37.8%	31.8%	40.0%
まだ考えたことがない	51人	5.8%	9.3%	2.2%	20.0%
その他	1人	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%
合計	873人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表34】

選択肢	全体	1年生	2年生	3年生
ある	59.5%	52.8%	60.1%	66.5%
考えてはいるが、まだわからない	34.6%	42.2%	33.9%	27.4%
まだ考えたことがない	5.8%	5.0%	5.9%	5.7%
その他	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(問14で「1 ある」と回答された方、お答えください)

問15 その職業に就きたい理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

「自分のやりたい仕事だから」が最も多く、これに「将来性、安定性があるから」が続いています。

「給料が良さそうだから」を選んだ男性は、女性に比べて7.4ポイント高く、「性別に関係なく活躍できる仕事だから」を選んだ女性は、男性に比べて7.5ポイント高くなっています。

【図表35】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	選択率	選択率	選択率	選択率
自分のやりたい仕事だから	453件	88.0%	83.4%	90.6%	100.0%
将来性、安定性があるから	152件	29.5%	28.3%	30.0%	0.0%
給料が良さそうだから	85件	16.5%	20.5%	13.1%	0.0%
性別に関係なく活躍できる仕事だから	42件	8.2%	3.9%	11.4%	0.0%
休みが多く、余暇も楽しめそうだから	18件	3.5%	3.9%	3.4%	0.0%
家事・育児・介護などとの両立が可能だから	18件	3.5%	1.0%	5.4%	0.0%
わからない	4件	0.8%	1.0%	0.7%	0.0%
その他	10件	1.9%	2.9%	1.3%	0.0%

注) この設問は選択率で表記しています。

■ 「その他」への記入事項（主なもの）

- ・憧れた
- ・尊敬している人物の仕事だから
- ・目標があるから

問16 将来就職するとしたら、転職・離職についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「最初に就職した所に、できるだけ長く勤めたい」と回答した人は61.7%でした。

学年別でみると、「最初に就職した所に、できるだけ長く勤めたい」と回答した人がどの学年でも最も多いが、学年が上がるにつれて、割合が低くなっており、「よい就職先があれば、いつ転職してもよい」は学年が上がるにつれて、割合が高くなっています。

【図表36】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
最初に就職した所に、できるだけ長く勤めたい	541人	61.7%	68.1%	57.3%	16.7%
よい就職先があれば、いつ転職してもよい	196人	22.3%	22.9%	21.7%	16.7%
結婚するまでは勤めたい	31人	3.5%	0.3%	6.3%	0.0%
出産する（妻やパートナーが出産する）までは勤めたい	44人	5.0%	0.3%	9.0%	16.7%
わからない	55人	6.3%	7.5%	4.6%	50.0%
その他	10人	1.1%	1.0%	1.1%	0.0%
合計	877人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表37】

選択肢	全体	1年生	2年生	3年生
最初に就職した所に、できるだけ長く勤めたい	61.7%	70.5%	61.2%	54.2%
よい就職先があれば、いつ転職してもよい	22.3%	15.3%	22.0%	29.2%
結婚するまでは勤めたい	3.5%	2.1%	5.2%	3.2%
出産する（妻やパートナーが出産する）までは勤めたい	5.0%	6.0%	4.5%	4.6%
わからない	6.3%	5.7%	5.6%	7.4%
その他	1.1%	0.4%	1.4%	1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■「その他」への記入事項（主なもの）

- ・自由にケースバイケースでその時に合った行動をとればよいと思う
- ・自分でやる
- ・やりたいと感じた仕事は最後までやり抜きたい

問17 将来家庭をもったとしたら、①家事 ②育児 を主に誰がするのがよいと考えますか。
 それぞれ1つ選んでください。

「①家事」、「②育児」ともに「夫と妻で分担」が最も多くなっています。
 「①家事」、「②育児」ともに「小学生の頃、女性の保護者は働いていた」と回答した人より、
 「働いていなかった」と回答した人の方が「主として妻」が多くなっています。

【図表38】①家事

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
夫と妻で分担	605人	69.4%	67.2%	71.2%	60.0%
主として妻	231人	26.5%	26.3%	27.1%	0.0%
主として夫	9人	1.0%	1.6%	0.7%	0.0%
夫と妻以外の家族	1人	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%
外部サービスを利用	5人	0.6%	1.0%	0.0%	20.0%
その他	21人	2.4%	3.6%	1.1%	20.0%
合計	872人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表39】①家事

選択肢	全体	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていた	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていな かった	覚えていない	その他
夫と妻で分担	69.4%	71.7%	66.5%	54.5%	70.0%
主として妻	26.5%	24.2%	31.1%	31.8%	20.0%
主として夫	1.0%	0.7%	1.2%	4.5%	0.0%
夫と妻以外の家族	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
外部サービスを利用	0.6%	0.6%	0.4%	2.3%	0.0%
その他	2.4%	2.6%	0.8%	6.8%	10.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表40】②育児

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
夫と妻で分担	650人	74.6%	72.8%	75.8%	40.0%
主として妻	190人	21.8%	21.4%	22.9%	0.0%
主として夫	5人	0.6%	1.0%	0.2%	0.0%
夫と妻以外の家族	1人	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%
外部サービスを利用	5人	0.6%	0.8%	0.2%	20.0%
その他	20人	2.3%	3.9%	0.7%	40.0%
合計	871人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表41】②育児

選択肢	全体	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていた	小学生の頃、 女性の保護者 は働いていな かった	覚えていない	その他
夫と妻で分担	74.6%	76.0%	70.9%	70.5%	80.0%
主として妻	21.8%	20.3%	27.6%	15.9%	10.0%
主として夫	0.6%	0.4%	0.4%	4.5%	0.0%
夫と妻以外の家族	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
外部サービス利用	0.6%	0.7%	0.0%	2.3%	0.0%
その他	2.3%	2.4%	1.2%	6.8%	10.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

6 性的マイノリティについて

問18 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

「はい（知っている）」と回答した人は25.5%でした。

【図表42】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
はい	223人	25.5%	23.3%	26.9%	40.0%
いいえ	652人	74.5%	76.7%	73.1%	60.0%
合計	875人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問19 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向（同性愛など）に悩んだことがありますか。

「はい（悩んだことがある）」と回答した人は10.6%でした。

【図表43】

選択肢	全体		男性	女性	その他
	回答数	割合	割合	割合	割合
はい	92人	10.6%	9.6%	10.0%	25.0%
いいえ	780人	89.4%	90.4%	90.0%	75.0%
合計	872人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

7 男女共同参画推進について

男女共同参画についてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

■記入事項（主なもの）

（回答者数:38人）

項 目	回答数
男女共同参画は必要だと思う ・立場は平等であるべきだと思う。	5件
男女共同参画はまだ進んでいない ・国の雰囲気全体がまだ男女共同を推進しているように思わない。	3件
固定的性別役割分担意識について ・男は働き、女は主婦をするという考えは古いと思います。	2件
男性について ・女性に対する意識が大きくなりすぎて逆に男性の位置、力が弱まっていると感じる。	4件
女性について ・もっと女性が優遇されれば育児していてもやりやすい社会になると思います。	2件
必要ない ・その人がやりたいことをやればいい。男、女で分けるという考えはない。	7件
よくわからない ・共同参画のことについて詳しくは分からないので、理解を深める。	3件
今後について ・法制度は進んでいると思うが、日本の社会全体の会社を休みづらい（育児など）という空気を変えるべきだと思う。	6件
その他 ・セクハラとされる行為の範囲があいまいでわかりにくい。	6件

自由記入欄への記載内容

問5 一般的に女性が職業をもつことについての考え 「その他」への記入内容

- その人の自由である。(ほか12件)
- 自分の好きにしたら良い。(ほか11件)
- 仕事がしたいなら続ければよい。(ほか6件)
- 自分のやりたいことをやるべきだから。(ほか2件)
- 家庭によって違うはずなので、家庭ごとの意見。(ほか2件)
- 自分の生活のスタイルに合わせて続けたり、やめる時期を決められると良い。
- 1(ずっと職業をもち続ける)、2(結婚するまでは職業をもつ)、3(子どもができるまでは、職業をもつ)ならどれでもいい。
- 自分が辞めたいと思う時まで。
- パートナーと話し合っただけで決めるのがよい。
- その時の状況による。
- 性別ではなくパーソナリティによって決められ方がよい。
- 必要なとき、または働きたい間は職業をもてばいい。
- そもそももち続けるなどという議論ではなく、働ければ働くというものが仕事である。したがって、期限についての議論はナンセンスである。
- なにがいいとかでなくその人が思うように動ける社会にすべきだと思う。
- 場合による。もち続けても続けなくても、その時の環境によって良い悪いは変わると思う。
- 結婚して子どもができて金銭的、精神的に余裕があり仕事に戻りたいなら、仕事を続けてもよい。
- 働きたくない。
- どうでもいい。

問6 女性が職業をもち続けるほうがよいと考えた理由について 「その他」への記入内容

- やりたいことをした方がよいと思うから。(ほか3件)
- 女性も男性も平等だから、男性が働く権利があるなら女性もそうだから。(ほか1件)
- 女性の方が能力が高くより社会の利益につながる。
- 続けたい人がいるから。
- 社会的立場を確立させ、認めてもらえるから。
- 仕事が生きがいだと思っている人がそれを捨てる必要はないから。
- やりがいがあるから。
- 全部。
- 経済活動の活性化をはかれるから。
- 働いて給料を得なくては、結婚していても生活が難しいから。

問7 子どもが小学生になった頃に職業をもつ(再就職する)ことについてどう思うか
「その他」への記入内容

- 働きたいのであれば、働けば良い。
- 働かないで家計が成り立つなら女性は家にいた方がよい。
- 働いても良いが子供が1人の時間を作らない。
- 良いと思うが中学生になってからの方がよい。小学生の子を1人にするのはかわいそう。
- 子どもが良いというならすればいいし、子ども次第。
- 資格を使う。

- ・子どもとの時間をしっかり作れる程度に工夫して働く。
- ・どちらでもいいと思う。

問8 女性が職業をもつ（もたない）の考え方に影響を受けた人やツールについて
「その他」への記入内容

- ・自分。（ほか2件）
- ・現代の社会。（ほか1件）
- ・昔からの伝統、文化。（ほか1件）
- ・分らない。（ほか1件）
- ・戦争。
- ・家の経済状況。
- ・メルケル首相。
- ・だんな。
- ・おみせの人。
- ・地域の人。
- ・周囲の環境の全て。
- ・子ども。
- ・政治家。
- ・青とう社。

問10 学校でのセクハラ被害の内容について 「その他」への記入内容

- ・体を触られる。（ほか1件）
- ・しつこくメールされたり出待ちされた。
- ・部活でアドバイスしていた。
- ・SNSを教えてと言われた。
- ・ニュースでみた。
- ・男にも体重を聞くな！

問15 将来希望する職業に就きたい理由について 「その他」への記入内容

- ・日本国民だから、父がその仕事にほこりをもっているから。
- ・憧れた。
- ・祖父の仕事を継ぐ。
- ・平和とか貧しいとか困っている人を助けたい。
- ・尊敬している人物の仕事だから。
- ・目標があるから。
- ・親に影響された。
- ・なんとなく。
- ・他に思い付かない。
- ・お金に困りそう。

問16 転職・離職についての考え 「その他」への記入内容

- ・自由にケースバイケースでその時に合った行動をとれば良いと思う。

- 何か重大な問題があったら辞めるのを許してくれる所なら。
- 2のいつでも良いわけではないがタイミングを見て新たな可能性を見つけるためにも転職するべき。
- その時のいきあたりばったりによる。
- ずっと人の下は嫌なので、3年働いたら自営業をすると決めている。
- 自分でやる。
- やりたいと感じた仕事は最後までやり抜きたい。
- 最終目的を達成したら、一生。
- やりたいようにやればいい。
- 最初は東京で働き技術を学びその後地元で働きたい。

男女共同参画についての自由意見への記入内容

【必要だと思う】

- 男女共により能力を高めあう社会はこれからの発展にとてもよいと思った。
- 立場は平等であるべきだと思う。
- 男女平等を目指そう。
- 推進すべき意見だと思う。
- 男女が分かりあえる日がくるといいですね。

【まだ進んでいない】

- 国の雰囲気全体がまだ男女共同を推進しているように思わない。
- まだまだ男女で平等とは言えないと思う。（ほか1件）

【固定的性別役割分担意識について】

- 男は働き、女は主婦をするという考えは古いと思います。（ほか1件）

【男性について】

- 男性の女性差別だけでなく、逆にも注意してほしい。
- 女性に対する意識が大きくなりすぎて逆に男性の位置、力が弱まっていると感じる。育休などで長期の休みをとられると大手企業はいいと思うが中小企業は困るので簡単に解雇できるようにしてほしい。
- なんでも男の人が強い時代はもう終わったと思います。
- 最近女性に優遇されすぎているので、ちかんなどの男性の権利を作してほしい。
- この考えは、きちんと社会全体に浸透させ、全員が意識しなければいけないと思う。女性を卑下しないよう意識しすぎて、逆に男性が不利となっている場合もあるのでは？

【女性について】

- もっと女性が優遇されれば育児していてもやりやすい社会になると思います。
- 男女共同参画というわりには、女性の優遇が目立つようになっている。

【必要ない】

- 男と女は考え方や感じ方が違うから制度や法律を平等にしたところでどちらかが不利益をこうむるだけだと思う。
- 人によって考え方が違うからむずかしい。

- 男、女という考えではなく、人間として、接していくべきである。
- その人がやりたいことをやればいい。男、女で分けるという考えはない。
- 男は男、女は女なので、男≠女よって平等、または平等に近い状態にするのは無理です。
- 女性も男性と同等の扱いをすべき、されるべきという考え方自体平等でない。女性、男性などの考えで二分すべきではない。あくまでスペクトラム的なものであり人それぞれちがう。それで良い。
- 自由が一番。

【よくわからない】

- 男女共同参画の意味がよくわからない。
- 共同参画のことについて詳しくは分からないので、理解を深める。
- わかりません。

【今後について】

- 男女共同という、名目で企業等に「～%以上女性を入れる」という目標を立てさせているが、これは逆にこのように目標を立てなければ女性が入れないという意味で女性への差別でありやってはいけないと思う。本当の平等とはなにかをもう一度考え直すべき。
- 両親共働きで子どもとの交流がなくなってしまうことと、女性の労働の機会が損なわれてしまうこと、両方の問題が解決できるような社会にしていきたいですね。
- 法で決まってもその通りになっていないのが現実。日本には男女間に大きな壁があることが大きな原因だと思う。小さなころから男女間でとるコミュニケーションの機会を設けることで今後、若い世代の社会で男女共同参画社会が実現すると思う。
- 法制度は進んでいると思うが、日本の社会全体の会社を休みづらい（育児など）という空気を変えるべきだと思う。
- 今回のアンケートは女性についての内容がとて多かったが、男女共同参画は男性も女性も尊重されるべきだと思う。女性が働ける社会を作ることと同時に、女性が育児に専念することもできる社会、男性も同様の権利が補償される社会になってほしい。
- 男女共同参画は実現されるべきだが、それが乱用されると伝統や秩序が失われるので、調整も必要。

【その他】

- 日本は元々男尊女卑で、これを今変えようとしているのはいい事ですが、過剰に女性を優遇するのは間違いに思います。最後にLGBTの質問がありましたが、法律で女性同士男性同士の結婚もOKにするべきだと思います。
- こんなアンケートして何かするより今のままでおちつくと思う。
- 今、その様な男女共同参画になりつつあるが、年配の方は、それがまだ理解できていないと思う。
- セクハラとされる行為の範囲があいまいでわかりにくい。
- こういうアンケートは母子家庭、父子家庭が答えづらくやめたほうがいい。すごく嫌。

調査用紙

男女共同参画に関するアンケート調査【調査票】

はじめに、あなた自身のことについて教えてください。それぞれ1つずつ選び、番号に○をつけてください。

①性別	1 男性 2 女性 3 その他
②学年	1 1年生 2 2年生 3 3年生
③あなたが小学生の頃、女性の保護者は働いていましたか	1 働いていた 2 働いていなかった 3 覚えていない 4 その他
④あなたが小学生の頃、家事・育児・子育ては主に誰が行っていましたか	1 主として女性の保護者が行っていた 2 主として男性の保護者が行っていた 3 両方で協力して行っていた 4 覚えていない 5 その他
⑤小学校から高校で、これまでに「男女共同参画」について学んだことはありますか	1 学んだことがある 2 学んだことはない 3 覚えていない
(⑤の質問で1を選んだ方) ⑥「男女共同参画」の内容について理解はできましたか	1 理解できた 2 ある程度理解できた 3 あまり理解できなかった 4 理解できなかった 5 覚えていない

1 男女共同参画に対する考え方について伺います

問1 次の言葉について知っていますか、または聞いたことがありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

- | | | |
|--------------|--------------------------|-----------|
| 1 男女共同参画（社会） | 2 男女共同参画基本法 | 3 ジェンダー |
| 4 固定的性別役割分担 | 5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） | |
| 6 男女雇用機会均等法 | 7 育児・介護休業法 | 8 デュオよこすか |
| 9 女性活躍推進（法） | 10 待機児童問題 | |

問2 次にあげる分野で、男女は平等だと思いますか。それぞれ1つずつ選んでください。

	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	男女平等である	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	わからない
①学校生活	1	2	3	4	5	6
②家庭生活	1	2	3	4	5	6
③法律、制度	1	2	3	4	5	6
④社会全体	1	2	3	4	5	6

2 固定的性別役割分担について伺います

問3 次の①から③のような意見について、どのように考えますか。それぞれ1つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい	1	2	3	4
②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ	1	2	3	4
③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4

問4 あなたの保護者は次の①から③のような意見について、どのように考えていると思いますか。それぞれ1つずつ選んでください。

(1) 女性の保護者

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい	1	2	3	4
②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ	1	2	3	4
③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4

(2) 男性の保護者

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①女らしい振る舞い、男らしい振る舞いをした方がよい	1	2	3	4
②女性も男性も役割分担して、家事・育児に積極的に関わるべきだ	1	2	3	4
③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4

3 女性の活躍推進について伺います

問5 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

1	ずっと職業をもち続ける方がよい	⇒問6、問8へ
2	結婚するまでは職業をもつ方がよい	⇒問7、問8へ
3	子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	⇒問7、問8へ
4	女性は職業をもたない方がよい	⇒問8へ
5	わからない	⇒問9へ
6	その他 ()	⇒問9へ

(問5で1と回答された方、お答えください)

問6 女性が職業をもち続ける方がよいと考えた理由について1つ選んでください。

- 1 能力を生かした方がよいから
- 2 社会とより関わることができるから
- 3 経済的に自立できるから
- 4 精神的に自立できるから
- 5 わからない
- 6 その他 ()

⇒問8へ進んでください

(問5で2, 3と回答された方、お答えください)

問7 子どもが小学生になった頃に職業をもつ(再就職する)ことについてどう思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 フルタイム(正社員など)で再就職した方がよい
- 2 パートタイム、アルバイトで再就職した方がよい
- 3 テレワーク*やクラウドソーシング*など在宅勤務で再就職した方がよい
- 4 再就職せず、家事・育児などに専念した方がよい
- 5 わからない
- 6 その他 ()

※後ほど、用語解説をご覧ください。

⇒問8へ進んでください

(問5で1~4と回答された方、お答えください)

問8 女性が職業をもつ(もたない)という考え方について、最も影響を受けたと思う人物やツールを1つ選んでください。

- 1 女性の保護者
- 2 男性の保護者
- 3 保護者以外の家族
- 4 親戚
- 5 学校の先生
- 6 友人・先輩などの知人
- 7 職業体験(職場見学)
- 8 学校の授業
- 9 テレビ・新聞・インターネットなど
- 10 特に影響を受けたことはない
- 11 その他 ()

⇒問9へ進んでください

4 セクハラ (セクシュアル・ハラスメント)、DV (ドメスティック・バイオレンス) について伺います

問9 これまで学校でセクハラ*だと感じたことはありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

- 1 自分が被害を受けたことがある
- 2 他の人が被害を受けたと聞いたことがある
- 3 他の人が被害を受けたことを見たことがある
- 4 自分では自覚していなかった行為や言動を、セクハラだと指摘されたことがある
- 5 承知の上でセクハラをしたことがある
- 6 セクハラを受けたり、見たり、聞いたりしたことはない ⇒問 11 へ

※後ほど、用語解説をご覧ください。

(問9で1～5と回答された方、お答えください)

問10 それはどのような内容でしたか。あてはまるものすべてを選んでください。

- 1 携帯電話などで性的な電子メールや画像を送られた (送った)
- 2 性的なからかいや冗談などを言われた (言った)
- 3 必要もないのに体を触られた (触った)
- 4 雑誌などのヌードや水着の画像を見せられた (見せた)
- 5 性的な関係を求められた (求めた)
- 6 容姿のことで他人から不愉快な思いをさせられた (させた)
- 7 その他 ()

(全員、お答えください)

問11 次の言葉について知っていますか、または聞いたことがありますか。それぞれ1つずつ選んでください。

	言葉も意味も知っている	言葉は聞いたことがある	知らない
①DV*	1	2	3
②デートDV*	1	2	3

※後ほど、用語解説をご覧ください。

問 12 配偶者や恋人間で起こる、次のような事は暴力だと思えますか。①から⑧の項目ごとにそれぞれ1つずつ選んでください。

	暴力だ と思う	どちら かとい えば、 暴力だ と思う	どちら かとい えば、 暴力だ と思わ ない	暴力だ と思わ ない	わか らな い
①何を言っても無視する	1	2	3	4	5
②相手の携帯電話をチェックして友達の番号 やアドレスを消せと言う	1	2	3	4	5
③頻りに電話をしてくたり、行動を制限しよ うとする	1	2	3	4	5
④お金を取り上げる	1	2	3	4	5
⑤殴るふりなどをして脅す	1	2	3	4	5
⑥物を投げつける	1	2	3	4	5
⑦身体を傷つける可能性のある物で叩く	1	2	3	4	5
⑧嫌がっているのに無理やりキスしたり、 抱きついたりする	1	2	3	4	5

問 13 DVの相談機関を知っていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1 警察	2 市役所	3 配偶者暴力相談支援センター
4 かながわ男女共同参画センター	5 民間支援団体	
6 法務局（人権擁護委員）	7 相談できる機関を知らない	

5 将来について伺います

問 14 将来就きたい職業がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 ある | ⇒問 15、問 16 へ |
| 2 考えてはいるが、まだわからない | ⇒問 16 へ |
| 3 まだ考えたことがない | ⇒問 16 へ |
| 4 その他 () | ⇒問 16 へ |

(問 14 で1 と回答された方、お答えください)

問 15 その職業に就きたい理由は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- | |
|------------------------|
| 1 自分のやりたい仕事だから |
| 2 将来性、安定性があるから |
| 3 給料が良さそうだから |
| 4 性別に関係なく活躍できる仕事だから |
| 5 休みが多く、余暇も楽しめそうだから |
| 6 家事・育児・介護などとの両立が可能だから |
| 7 わからない |
| 8 その他 () |

(全員、お答えください)

問 16 将来就職するとしたら、転職・離職についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 最初に就職した所に、できるだけ長く勤めたい |
| 2 よい就職先があれば、いつ転職してもよい |
| 3 結婚するまでは勤めたい |
| 4 出産する(妻やパートナーが出産する)までは勤めたい |
| 5 わからない |
| 6 その他 () |

問 17 将来家庭をもったとしたら、①家事 ②育児 を主に誰がするのがよいと考えますか。
それぞれ1つ選んでください。

	夫と妻で分担	主として妻	主として夫	夫と妻以外の 家族	外部サービス を利用	その他
①家事	1	2	3	4	5	6
②育児	1	2	3	4	5	6

6 性的マイノリティについて伺います

問18 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）※という言葉を知っていますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

※後ほど、用語解説をご覧ください。

問19 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向（同性愛など）に悩んだ
ことがありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

7 男女共同参画推進について伺います

男女共同参画についてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました